

ガスを届ける工夫



1

1 都市ガスをつくり続けられるように、いろいろな国(外国)から運ばれてきた原料(天然ガス)をタンクに貯めています。



2

ガス

2 ガスもれに気づくように、LNG受入基地から都市ガスとして送り出すとき、においを付けています。



3

3 ガスを送り出す量をコントロールし、家庭や工場などに正常に届けられているか、24時間体制で見守っています。



4

4 ガスホルダーはガスを一時的に貯めておく施設です。貯めておくことにより、ガスの使用量が多くなる時間帯でもガスを送ることができます。



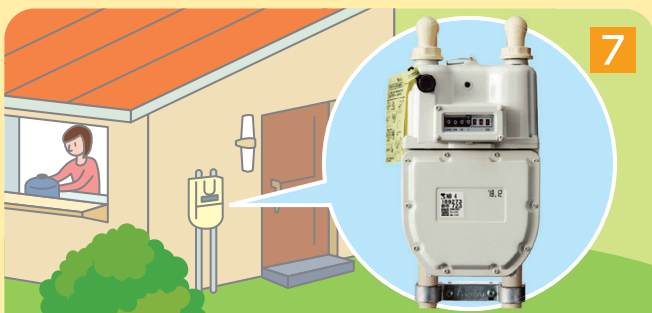
5

5 地震が起きてもガス管がこわれないように、ゆれに強いガス管(ポリエチレン管など)に取りかえています。



6

6 もしもガス漏れが起きたら、24時間体制でいつでも緊急車で駆けつけ、ガス管の修理などを行います。



7

7 家庭などに取り付けられているガスメーターは、震度5程度の大きな地震でガスを自動的に止めます。ガス管などに被害がなければ、各家庭でガスを使えるようにもどすことができます。



8

8 法律にもとづいて、家庭のガス器具などを定期的に点検しています。(4年に1回以上)